

## < 編集後記 >

編集後記を書くのは、委員の先生の担当だと思っていましたが、「事務の方で書いてみたら・・・」との委員長の一言でなぜか書くことになってしまいました。ウ～～ま、しかたないか、事務側の小言を時には聞いてもらっても。と開き直り（編集後記ではなくなることを承知していただいたものとして）思いつくまを一言。

3年前「大型計算機センター」から「情報連携基盤センター」に変わり、情報基盤のさまざまなサービスが始まると、センターニュースも当然内容の変化が要求され、徐々に内容に変化がみられるようになりました。しかし、読者（発送先）はやはり大型計算機システムの利用者が主になっています。幅広い読者をとっては思っても、むやみにばら撒くものでもなく、どのあたりの方に配布していいのかわかりません。それに今はWebで読んでいる方も多だろうし、どなたが読んでくださっているのかちょっとつかみきれません。（最近では生協に置いていただいているので、学生の方にもひょっとして愛読者がいるのかも。）はやく読者（発送先）名簿に新しい名前を加えたいと思っていますが。

広報委員会での編集上の悩みといえば、執筆者探し。また事務では原稿集めが大変。特に締め切り後の原稿請求は、忙しいのに書いていただいていると思うだけで恐縮してしまい、その上知らない方には特に神経をつかいます。失礼をしていないつもりでも、顔をみないやり取りは、どこで不快な思いを与えてしまうかわかりません（請求されるのは、あまりいい気分のものでないでしょうから...）と、あげればいろいろ苦労はあるものです。

内容的には改革に日々努力をしています。幅広くまた魅力あるものにするために、委員会では検討を重ねていますが、まだまだ納得いく形が定まりません。発展途上です。また「広い見地で、アイデア段階の発想も紹介したい」との意見も出ました。私もその意見には大きくうなずきます。技術的な事や専門的な意見交換の場である事は当然ですが、若い研究者（学生・大学院生）が、将来が明るくなるような、これからの人に夢をあたえるようなそんな事も伝えていけたら（ちょっと稚拙ですか？）、そんなワクワクするニュースであっていいのでは、と思っています。情報関係がちょっと苦手な人も読んでおもしろい内容、知識となるもの、そんな記事も載せられる「ニュース」ができればいいな...

広報専門委員会事務担当 M. M.